

実施報告

北斗市立萩野小学校

* 学級数 10 * 児童数 128

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道函館西高等学校	教諭	栃木 一晃	生物

【ねらい】 小学校第3学年「電気の通り道」、第4学年「電気の働き」、第5学年「電気の働き」、第6学年「電気の利用」の単元において、電気の仕組みをより理解させることができるよう、観察、実験の指導方法を身に付ける。

【日 時】 1月30日（火）13：30～15：10

【場 所】 萩野小学校理科室

【参加者】 14名

【内 容】 ・第5学年「電気がうみ出す力」における電磁石の活用方法
・第6学年「電気と私たちの暮らし」における発電機の作り方やコンデンサーの活用方法



【本事業の成果を活用した指導計画の改善】

本校では、本校では、支援員から学んだことを踏まえ、実験、観察を効果的に行う教材を作成するとともに、作成した教材の活用を位置付けるなど年間指導計画の改善を行った。

1 第5学年での工夫改善

単元名「電流がうみ出す力」で使用する電磁石と簡易スピーカーを作成した。

本教材を活用することで、電磁石の仕組みの理解を深めるとともに、学んだ知識をもとに電磁石が日常生活でどのように活用されているかについて学習することができると考えられる。また、色画用紙や紙コップなどの身近な材料を利用することで、教材の準備に時間がかからず、どの児童も簡単に作成することができると考えられる。

2 第6学年での工夫改善

単元名「電気と私たちの暮らし」で手回し発電機やコンデンサーを効果的に活用する指導方法について理解を深めた。

本教材を使用することで、発電の仕組みの理解を深めるとともに、ハンドルの回し方と発電の関係等、児童に学習意欲を高めることができると考えられる。また、コンデンサーを利用した実験をおこなうことで、蓄電についても理解を深めることができると考えられる。



